



http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/nakatane-h/top.html

Eメール nakatane-h-ss@edu.pref.kagoshima.jp

平成 31 年 1 月 28 日 発行

## 『平成の中種子養護学校、変わったこと、変わらないこと』

教頭 小山 浩平



平成の初めに初任者として勤めた中種子養護学校は小学部・中学部だけの学校で、子どもも職員も少なかったのですが、保護者の方々、あかつき学園や地域の方々とのつながりが豊かで、小さいながらも広く地域に開かれた学校という印象でした。また、休日には、バレーボール大会やソフトボール大会など地域、地域のスポーツ大会にみんなで参加するなど、プライベートも大変充実していました。

それからおよそ20年が過ぎましたが、20年経っても変わらないことの一つに、地域の方々とのつながりがあります。子どもたちが利用する福祉サービスは種類も数も増えてきましたが、連携の有り様は変わらず豊かです。また、行事の度に多くの方が学校にいらしてくださいます。保護者の方々の学校の活動への協力にも頭が下がります。

学校の緑や地域の自然の豊かさも変わりありません。美しい校庭の芝生やシンボルであるガジュマルの緑、季節の花で彩られた花壇は今も昔も本校の自慢です。また、学校から見えるロケットの軌跡や広大なサトウキビ畑、各種スポーツ大会の盛り上がりも以前のままで。「自然と優しい地域に恵まれた、いい学校だなあ。」とつくづく思います。

一方で、変わったこととしては、教材研究や文書作成のためにコンピュータに向かう時間の増加が挙げられます。多くの場合、キーボードをたたいている人は無口です。本校では教師同士の協働やチームワークは豊かだと考えますが、パチパチとキーボードをたたく音だけが響く時間も多いです。(これを否定するものではありません。)

次に、特別支援学校に求められるセンター的機能も以前とは異なります。地域の小・中学校等への巡回相談だけでなく、市町の教育委員会、福祉部局との連携による多様な支援業務、本校の取組を発信する「中養授業公開」や「ひまわり教育相談」等の研修・相談支援など、地域のニーズに応える新たな取組が増えていきます。

また、高等部の設置や通学バスの運行、平成30年度からの高等部屋久島支援室の開設や二次調理室の運用など、これまでの保護者や地域の方々の思いが形になったことも多くあります。

わたしたちは、長い間変わらず引き継がれてきたものは大切に、新たな取組は10年後、20年後を見据えて形を整えていかなければなりません。子どもたちが、また、職員が中種子養護学校を再訪したときに、「やっぱり、いいなあ。」と感じられるような学校でありたいと考えつつ、キーボードをたたき平成31年の始まりです。

## 【小学部】「学習発表会」

小学部は、昔話「浦島太郎」の物語を題材に発表しました。子供たちは、大勢の観客に緊張した様子でしたが、文字書き、楽器演奏、マット運動など日頃の学習の中で、できるようになったことや得意なことを堂々と笑顔で発表することができました。毎日の練習やバック絵の準備にも意欲的に取り組み、みんなで協力しながら成功させた学習発表会でした。



## 【中学部】「校外学習」

12月19日(水)、中学部全員で校外学習に行きました。新光糖業では、荷台いっぱいサトウキビを積んで次々に工場に入ってくるトラックの様子を見学したり、大きな機械の迫力を間近で感じたりすることができました。また、猿蟹川では、昔ながらの黒糖作りとして、サトウキビ搾りや「さとうすめ」という工程を体験させていただき、とても貴重な機会となりました。特産品のサトウキビがどのように加工されているのかを知り、生徒たちもより身近に感じるようになってきたのではないかと思います。



## 【高等部】「余暇体験学習(総合的な学習の時間)」

中・高等部で取り組んでいる余暇学習で、地域の方を講師に招き、体験を行いました。11月29日は、4グループに分かれ、その中の一つ「ヨガグループ」は外部講師による体験を行いました。また、12月6日には、種子島で活動している音楽グループの方々に来ていただいて、鑑賞も行うことができました。このような活動を通して、生徒の余暇について考える機会となればと思っています。また、今後も地域の資源を活用した学習を展開していきたいと思っています。



## 【不祥事防止強化月間の取組から】

信頼される学校づくりに向けた本校職員の思いを、標語にしました。学校ホームページで紹介しています。

「中種子養護学校職員は教員になったときの思いを大切にします。」

## 【進路指導部】

鹿児島県教育委員会が行っている技能検定を、今年度初めて中種子養護学校で開催しました。今まで本校の生徒は、移動等の面から、鹿児島会場への参加は難しく、技能検定に参加することができませんでした。そこで、中種子養護学校の生徒を対象とした技能検定の清掃部門を本校で開催することとなり、ビギナーコースに9人、チャレンジコースに2人が挑戦しました。当日は、ビルメンテナンス協会の方が審査員として来校してくださり、独特の緊張感の中でしたが、真剣に競技に向かい、身に付けた技能や態度を披露することができました。全員が認定証をいただき、達成感を味わったり、自信を付けたりする良い機会となりました。来年度も多くの生徒が挑戦することを期待しています。



## 【地域支援部】

地域における特別支援教育のセンター的機能として、2、3学期も熊毛地区内の保育所・幼稚園・こども園、小・中学校、高等学校に出向いて、発達等に関する巡回相談を行っています。また、教員や福祉関係者等を対象にした「なかよう夏期セミナー」や、高校生を対象に、障害について考える「高校生ボランティア養成講座」など、様々な研修会を開催することができました。地域の保護者や教員等からの発達等に関する相談に応じる「ひまわり相談」も実施しており、昨年度よりも多くの相談が寄せられています。

## 【研修係】

本校の研修では、今年度から、3か年の計画で「夢に向かって挑戦する子どもを目指したカリキュラムの確立」の研究テーマで進めています。大きな柱として、①子どもたちの夢の具現化②一人一授業での授業実践③単元(題材)ごとの評価・改善など、平成32年度から年次的に始まる新学習指導要領の実施に向けた「主体的・対話的で深い学び」の考えを盛り込み実践しています。11月2日には「なかよう公開と研修会」を開催。地域も含め関係者の皆様に御参加いただき有意義な研修会を実施することができました。

## 表彰

### 【CGアートコンテスト】

- ・中・高校生の部 グランプリ 岩川ユカリ ・奨励賞 岡崎滯菜
- ・審査員特別賞 河野風馬 ・奨励賞 岡崎わかな

### 【第69回鹿児島県高校美術展】

- ・洋画 奨励賞 日高暉生 ・洋画 入選 峯山彩菜
- ・デザイン 入選 日高優翔 ・洋画 入選 三輪洋斗

## 鹿児島県立中種子養護学校

〒891-3604 鹿児島県熊毛郡中種子町野間 6584-4

TEL: 0997-27-2818 FAX: 0997-27-0167

